

# レポート トピックス

議員として、議会内外で「議会活動」と「地域活動」を行ったことにより実現・解決した市民要望や市政課題、あるいは市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題(トピックス)があります。ここではその内容についてお知らせします。

## 課題、要望の解決・実現

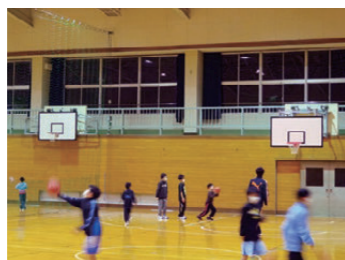
### ○交通規制

交通安全確保のため、四屋及び内免境界の交差点への交通標識設置と、停止線の再敷設及び新設



### ○施設改修

スポーツ少年団バスケットボールチーム「ウエスタンキッズ」の練習環境保全のため、練習場である高岡西部中学校体育館のバスケットゴール設備一式を改修(ゴールの上下スライド対応工事、リングを新品に取り替える等)



### ○カーブミラー新設

高岡第一高校グラウンドの周囲に防砂ネットが設置され、交差点の見通しが悪化したことに伴い、交通安全確保のため、本郷地内の交差点にカーブミラーを新設



### ○道路舗装

歩行者の交通安全確保、景観向上のため瑞穂町地内の道路を舗装



### ○白線敷設

交通安全確保のため、内免地内の道路に、外側線・中央線・バス停位置を示す白線を敷設



### ○道路整備

横田神社及び横田本町公民館と、西部保育園の間にある市有地を削ってレベル(高さ)を下げ、かつアスファルト舗装することによって、当箇所の水はけを良くし、各施設の腐食を防止すると共に景観を向上



## 横田せいじ プロフィール

### 自己紹介

- 生年月日 昭和55年5月13日(36歳)  
高岡市内免生まれ、美幸町在住
- 趣味特技 野球、空手、登山、スキー・スノーボード、読書

### 経歴

- 川原小学校、高岡西部中学校、高岡第一高等学校、富山県立大学工学部卒業
- 平成15年 高岡市役所入庁  
『都市計画課(地域交通担当)』で、万葉線やコミュニティバスなどの公共交通政策に、『総務課(危機管理室)』で、防災や国民保護などの危機管理政策及び選挙業務に、『財政課(資金、財政・調査担当)』で、予算編成や起債、決算分析などの財政政策に携わる
- 平成24年 高岡市役所退職
- 平成25年 高岡市議会議員(初当選)

### 市議会等での役職

- 総務文教常任委員会 委員長
- 新幹線・公共交通対策特別委員会 委員
- 荻布奨学金支給審査委員会 委員
- 議会会派「自民同志会」政調会 幹事

### 現役職資格等

- 富山県飲食業生活衛生同業組合 高岡支部顧問
- 高岡調理師会顧問
- 高岡市スキー連盟副会長
- 高岡市相撲連盟副会長
- 高岡市消防団和田分団員
- 高岡市スポーツ推進委員
- 高岡商工会議所青年部員
- (公社)高岡青年会議所地域づくり室長
- 高岡カラオケクラブ会員
- 南西リーグスポーツ少年団野球大会副会長
- 西条スポーツ少年団育成会副会長
- 西条スポーツ少年団育成会野球部顧問
- 西条校区青少年補導委員会顧問
- 西条校下体育振興会役員
- 国条橋運動広場管理協会事務局員
- 国条橋パークゴルフクラブ顧問
- 美幸町自治会相談役
- 美幸町高齢者見守り隊事務局局長兼会計
- 内免神明町獅子舞保存会会員
- 高岡第一高等学校第38回生同窓会会長
- 高岡西部中学校同窓会副会長
- 国際空手道連盟極真会館初段、審判資格
- (財)日本体育協会公認スポーツリーダー・スポーツ少年団認定員
- 自由民主党富山県支部連合会青年部長
- 自由民主党高岡市連合支部青年局幹事長
- 俳優 古村勇人富山後援会事務局
- 映画「デンサン」実行委員会副会長

発行 高岡市議会自民同志会

編集 高岡市議会議員 **横田せいじ** 〒933-0954 高岡市美幸町1-2-55  
TEL (0766) 25-4017 FAX (0766) 25-4007  
E-mail office@yokotaseiji.net HP http://www.yokotaseiji.net/  
FB http://www.facebook.com/yokotaseijikouenkai/

横田せいじ

検索

[高岡市議会議員]

# 横田の政治りぽーと

せいじ SEIJI's REPORT

2017年春  
第7号

Challenge your future!

高岡市議会議員の任期も最終年度。  
これまで同様、1日1日が勝負と考え、全身全霊で活動に邁進します!

H29.2.26 自民党富山県連青年局・学生部主催の学生セミナーにて。講師役の小泉進次郎衆議院議員と

### ごあいさつ

2017年も開始から3か月が経過し、新年度が始まりましたが、後援会並びに地域の皆様におかれましては、年度の変り目ということで、ご自身やご家族等、それぞれで出会いや別れ、新たなスタートをお迎えのことと存じます。

私の任期も開始から4か年度目を迎え、今秋で満了となりますが、これまで申し上げてきました通り、1年1年、そして1日1日が勝負と考え、その年、その日がどうであったのか、住民福祉向上や市発展のために何が出来たかを常に考え、全身全霊で活動に邁進してきました。この考えを変えることなく、今年度も全力で活動してまいります。

さて、年度の変り目ということで顧みますと、3月は北陸新幹線の開業月ですが、そこから早や2年の歳月が経過しました。乗降客数は特急時代と比較して2倍超となる高い水準を示し、来訪者も確実に増加していますが、定住者の増減に関わる社会動態、つまり高岡市への転入転出の人数を表す値も平成27年度に19年ぶりに増加に転じ、さらに、先の3月定例会時点では、平成28年度も増加しているとのことです。

高岡市によれば、平成27年国勢調査では、日本の人口が大正9年の調査開始から初めて減少に転じたとのことですので、今後は、このまちの基礎体力、あるいはまちの活力とも言うべき「人口」をいかに維持、増加していくかが最も重要な政治テーマであると存じます。

私としても、来訪者の増加はもとより、それ以上に年間を通して高岡に住み続け、活動頂ける移住・定住者を増加させるべきと考えており、都市基盤整備や子育て支援などの住民サービスの充実を図り、暮らしやすい、産み育てやすいまちをつくること、そしてその財源を捻出するために、広域行政の推進と、行財政及び議会政改革の断行による簡素で合理的な自治体を構築していくことが肝要と考えております。

これらを踏まえ、皆様との対話を大切に、議場の内外で発言・行動してまいりますので、引き続きのご支援とご協力、そしてご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年度の皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。第7号発刊にあたってのご挨拶とします。

横田誠二

# レポート 議会活動

高岡市議会は年4回定例会を開催しており、全議員には提出された議案や市政一般に対して質問できる権利が与えられています。この権利をしっかりと使い、各定例会で質問に立ちました。ここではその内容についてお知らせします。(詳細は横田せいじ公式HPに掲載)

## 平成28年12月定例会

### 【福祉について】

**Q** 学童保育の運営に関し、市民から「開始時間がもう少し早ければ良い」などの声が寄せられているが、市にどのような声が寄せられているのか。またその対応状況は。

**A** 保護者側からは、「終了時間の延長」や「夏休みなどの長期休暇中の開始時間を早めて欲しい」などの声。運営クラブ側からは「面積基準や人数規模、支援員の不足を理由に希望者全員を受け入れられない」や「定員を超える申し込みがあった場合の選考が難しい」などの声が寄せられている。

こうした保護者の声を各クラブの代表で構成される運営連絡協議会に伝え、開設時間の拡大等の検討を要請している。また、子ども・子育て支援事業計画に基づき、計画的に施設整備を進め、支援員の不足についても、退職保育士や県の子育てシニアサポーター登録者への勧誘等に取り組んでおり、これらを進め、利用を希望する児童が全て入所できるよう努めていく。

### 【健全財政の確保について】

**Q** 来年(平成29年)4月から簡易水道と水道事業が統合される。その統合後について何うが、国は各都道府県等に対し、市町村等の水道事業の広域連携に関する検討体制を平成28年度中に設置し、30年度までを目途に検討を行うことが望ましいとの要請をされている。

平成28年度から30年度までは、この広域化の調査・検討を実施する場合の地方財政措置も設けられていること、そして国が示した事例では、例えば秩父地域水道広域化の取り組みは、広域化に伴う施設整備費用の削減効果が119億円見込まれるとの実績もあることなどから、ぜひ水道広域化を進めるべきと考え、それが当局の所見は。



高岡市上下水道局庁舎

**A** 国では県に対し、水道事業の広域連携に関する検討体制の設置を要請しており、今後、その中で議論を進めていきたい。

### 【マイナンバーカードについて】

**Q** 申請状況と交付件数は。

**A** 申請件数は、平成28年11月末現在17,181件で人口174,333人に対する割合9.9%、交付件数は13,605件で、同7.8%。

**Q** マイナンバーカードの交付に合わせ、市内のコンビニで、土日・祝日を問わず朝6時30分から夜11時まで住民票

が受け取れるコンビニ交付サービスが本年4月から開始されている。

こうした利便性の高いサービスが実施されていることをより強力にPRしていく必要があると考えており、将来的には市の窓口業務量が低減し、職員配置の見直しへと繋がることを期待し、当局の所見を伺う。

**A** ポスター掲示やチラシの配布、市民と市政やホームページなどを活用して広く周知している。今後も、あらゆる機会を捉えて積極的にPRし、利用拡大に繋げる。

## 平成29年3月定例会

### 【住み良い地域づくりについて】

**Q** 安全・安心の観点から「防災」について。報道によれば全国の災害拠点病院715施設のうち、業務継続計画(BCP)未策定が393病院、率にして55%とのことだが、高岡市民病院のBCPの策定状況は。

**A** BCPの内容を「高岡市民病院災害時対応マニュアル」に盛り込み、今月(平成29年3月)中にはその改定作業を完了させることにしている。

**Q** 同じく安全・安心の観点から「消防」について。過去の災害における消防団の活躍はご案内の通りだが、昨年末の糸魚川市大規模火災でも、市内全域の団員が活動に当たったとのこと。

ただ、なり手不足が深刻であり、糸魚川消防団も4月1日現在で定員を150人下回っており、これは全国的な課題ともなっている。

そこで、本市消防団の前年度と今年度の消防団員数と充足率の推移は。

**A** 平成27年度当初で911名、定員1,020に対する充足率89.3%。28年度当初で947名、充足率92.8%。直近の(平成29年)3月1日現在で940名、充足率92.2%。

**Q** 新年度以降の消防団員確保に向けた取り組みは。

**A** 学生消防団活動認証制度を開始する。また、サラリーマン団員が増加していることから、平日・昼間に出勤できる団員確保のため、災害支援団員導入の検討を行っている。

**Q** 本市は税金が高いという話もしばしば耳にしてきた。そこで「公共料金」という観点で質問するが、この点で本市は県内10市の中で、中ほどから下の方に位置している。子育て分野では日本一どころか県内一すら名乗れない。確かに今議会に上程の「子ども医療費助成制度」にお

る所得制限撤廃は評価したいが、朝日町が18歳未満に、全国には22歳の年度末まで入院・通院に助成している自治体がある。この他、予定だが新年度から富山市は病児の送迎に使うタクシー代の助成を50%から75%に、魚津市は同時入所の第2子の保育料を無料化するなど、各自治体は次々と施策を打ち出している。

ただ、次世代に責任を持つ立場として、こうした自治体間の価格競争がどこまで続くのか。魅力ある地域づくりはあって然るべきだが、単にバラマキによるものは昨今の厳しい自治体財政状況を顧みたら、歓迎されるものでない。富山県のように10分や15分で他自治体へ移動できるコンパクトな県では、単純なサービス競争が行き過ぎることは避け、県が調整や指導に入るべきと考える。

そこで、あらゆる分野において、過度な公共サービスを抑制するため、県が調整や指導的役割を果たすよう、申し入れすべきと考えるが市の所見は。

**A** 各自治体は、自らの責任において住民サービスの提供に努力している。必要に応じて、国や県に要望していきたい。



平成29年3月定例会「総括質問(一問一答方式)」の様子。手前左は高橋市長

# レポート 地域活動

議員活動は、「議会内」と「議会外」での活動に大きく分けられます。「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」実現のため、議会外でも様々な活動を行っています。ここではその内容についてお知らせします。



平成29年高岡市消防出初式



極真会館寒稽古にて、道場生の皆さんに挨拶



西条小学校スキー学習。講師として参画



議会会派「自民同志会」東京視察研修



朝乃山関十両昇進を祝う会。高岡市相撲連盟副会長として参加



自民党富山県連青年局・学生部主催の学生セミナーにて、橋慶一郎衆議院議員と



自民党富山県連青年局・学生部主催の学生セミナーの様子。ステージ中央は講師の小泉進次郎衆議院議員



第3回富山の文化財「獅子舞」の保存継承・活用に係る意見交換会。各団体に開催を呼びかけた、世話人代表として挨拶している様子